

第2学年 「たのしいな（大きなビニルであそぼう）」（造形遊び）学習指導案

1 授業構成

目標と表現内容

本題材は、大きなビニルのもつおもしろさや特徴を感じ、色々な描画材料を使って思いのままに描く活動を通して、体全体の感覚や技能を働かせるようにすることをねらいとしている。

目標

- 大きなビニルに色々な描画材を使って、のびのびと表現する楽しさを味わう。
- どんな世界になっていくかをイメージして、表し方を工夫する。
- 大きなビニルを持って走ったり、広げてもぐったり、かざったりしてお互いに見せ合い楽しさを共感し合う。

表現内容

- 何を：大きなビニルを
- 何で：【主材料】ビニル・カラーペンパスと付加材料（平テープ・ビニルテープ・紙テープ）

【造形要素】

- ・透過、半透過の色（光）・重なる色
- ・太い線、細い線・色の組合せ
- ・イメージ・形の面白さ・動き
- どのようにして：
 - ・自分達の想像する世界をイメージして
 - ・カラーペンで絵を描いて
 - ・友達と絵と組み合わせ
 - ・友達と話合って
 - ・遊んで

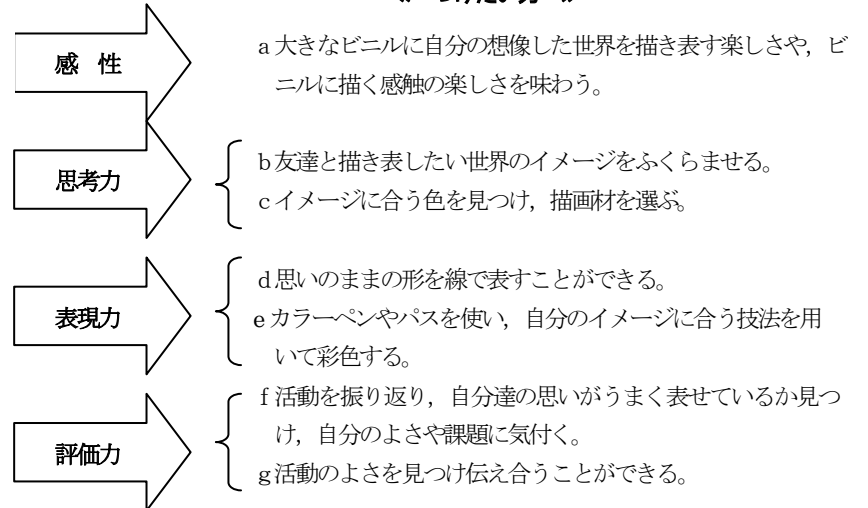
子どもの実態と本題材でつきたい力

本学年の子どもたちは、これまでに「いっぱい・ゆめいっぱい」（絵で表す）、「どんどん できるよ」（造形遊び）で見せた以下の実態から、本題材でつきたい力を次のように考えた。

◀ 子どもの実態 ▶

- ・たまごの模様や飛び出すものを想像し、楽しんで描き表そうとしていた。
- ・自分の好きな色や気に入った線で楽しみながら描き、形や色の面白さを感じていた。
- ・たまごの割れ方や飛び出す方向、飛び出すもの、その大きさや位置について、自分なりに表すことができていた。
- ・彩色については、濃く鮮やかにぬり残しがないようにできた子が多かったが、それに終始し、イメージに合う技法を使うところまでいかなかった。
- ・活動が終わってからの振り返りにしていたので、振り返りを作品に生かしてよりよくすることはできていない。

◀ つきたい力 ▶



4つの力を働かせ、認知する活動や手立て

本題材の指導にあたっては、子どもが上記の力を働かせ認知することができるように、教えることを下記のように明確にし、以下の活動を設定する。また事前に「見取りたい子どもの姿」を設定し、見取り表を用いながら共感的な価値付けを行っていく。

◆ 教えること

- ・ビニルの特性
- ・カラーペンによる彩色や技法
- ・ビニルに彩色するといろいろな効果があること（透過・半透過、影など）
- ・振り返りの視点

㊦ 探求活動

- a 大きなビニルとの出会いと遊びの体験
- a c ビニルに描く描画材の試し体験
- b 言葉のスケッチやアイデアスケッチ
- b 色、形の追究
- b テーマごとの場の設定

㊦ 交流活動

- b アドバイスし合う交流
- b 同じ場面を選んだグループによる話し合い
- b 広い場に大きなビニルの設定
- g 遊び場所や遊び方の工夫
- g ワークショップ

㊦ 振り返り活動

- f 4つの力の自己評価
- f g 観点を明示した、振り返りカードや振り返りノート

共感的価値付け

- ・見取りたい子どもの姿の設定
- ・見取り表の作成
- ・言葉掛け
- ・コメント書き
- ・聞き取り
- ・まとめの価値付け

2 指導計画（5時間）

◆教えること ㊦探求活動 ㊧交流活動 ㊨振り返り活動

| 配時 | 発想・構想1① | 発想・構想2② | 表現③④（本時3/5） | 鑑賞⑤（本時5/5） |
|-------------|---|--|--|--|
| 主な活動 | 1 ビニルに絵を描く材料遊びを楽しむ。 | 2 大きなビニルを見立てながら遊ぶ。 | 3 大きなビニルに表したいものを絵で描く活動を楽しむ。 | 4 表したもので遊び、そのよさに気付く。 |
| 見取りどいたもい姿の例 | <ul style="list-style-type: none"> ・描画材を色々試しながら描く。 ・ビニルと紙の描き心地の違いや面白さに気付く。 ・カラーペンの発色の鮮やかさやパスの色ののびの面白さに気付く。 ・形を自由に変えられたり、色を地面に映したりするビニルの面白さに気付く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビニルでなりきって遊ぶことのおもしろさに気付く。 ・大きなビニルを見立てることを楽しむ。 ・遊んだことを生かし、自分がかきたいことを決める。 ・かきたいものが同じグループで描くものを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いにあった描画材料や付加材料（平テープ・ビニルテープ）を選び、思いのままに表している。 ・お互いにお話を作りながら、発想を膨らませる。 ・他のグループのよさに気付き、新たな発想をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・表した世界にひたり遊ぶ。 ・表した世界を設置して遊ぶ。 ・自分たちの世界のよさを話す。 ・他のグループのよさを見つける。 |
| 力せるを認手働立かすて | <p>◆描画材の種類・使い方（演示）</p> <p>㊦材料の試し体験 ㊧描画材コーナー</p> <p>㊨遊びの体験</p> <p>㊩全体交流</p> | <p>◆大きなビニルの遊び方</p> <p>㊦出会いと遊びの体験</p> <p>㊨振り返りノート</p> | <p>◆描画材の特性</p> <p>㊦場の設定 ㊧材料コーナーの設置</p> <p>㊨全体交流 ㊩振り返りノート</p> | <p>◆作品の見方</p> <p>㊦ワークショップの設定</p> <p>㊧材料コーナーの設置</p> <p>㊨全体交流 ㊩振り返りノート</p> |
| 学習活動と内容(0) | <p>(1) カラーペンなどを使って、ビニルに絵を描く。</p> <p>○ビニルに触れ、活動に意欲をもつこと (感)</p> <p>○ビニルにカラーペンなどを使って描きたいものを描くこと (感・思)</p> <p>(2) 描いたビニルを使って遊ぶ。</p> <p>○ビニルのもつ特徴やよさをつかむこと (感)</p> <p>(3) 活動を振り返り交流して、次時の見通しをもつ。</p> <p>○ビニルに絵を描く活動の楽しさや可能性に気付くこと (感)</p> | <p>(1) 大きなビニルを使った遊び方を話し合う。</p> <p>○学習班で、「ゆらす」「もって走る」などの遊び方を思いつくこと (思)</p> <p>(2) 大きなビニルを見立てながら遊ぶ。</p> <p>○大きなビニルが何に見えるか想像しながら遊ぶこと (感・思)</p> <p>○ビニルで見立てた世界になりきって遊ぶこと面白さに気付く (感・思)</p> <p>(3) 表したい世界をアイデアスケッチに描き、グループ分けをする。</p> <p>○遊んだことを生かして、自分たちが描くものについて考えること (思)</p> <p>(4) 活動を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> | <p>(1) 大きなビニルに表したい世界を描画材を使って表す。</p> <p>○既習の経験をもとに、自分の思いにあった描画材を選ぶこと (感・表)</p> <p>(2) 他のグループの作品を鑑賞し、さらに表したいものを、付加材料（ビニルテープ・平テープ）を使って表す。</p> <p>○他のグループのよさを共有し、付け加えたいことを更に発想すること (思・評)</p> <p>○自分の思いにあった付加材料を選ぶこと (思)</p> <p>(3) 振り返りノートを書き、自分の活動を振り返る。</p> <p>○活動のよさや楽しさ、自分の頑張りに気付くこと (評・感)</p> | <p>(1) ビニルに表した世界で遊ぶ。</p> <p>○持ったり走ったり設置したりして遊ぶこと (感・思)</p> <p>○さらに材料を付け加えて遊ぶ。(表)</p> <p>(2) ワークショップで互いのよさを見つける。</p> <p>○よさを自慢したり、他のグループのよさを見つけること (思・評)</p> <p>(3) 全体で交流し、見つけたよさを出し合う。</p> <p>○活動のよさや作品のよさを確認すること (思・評)</p> <p>(4) ビニルシートで遊んだことを振り返る。</p> <p>○活動のよさや楽しさを自分の作品のよさに気付くこと (感・評)</p> |

3 / 5時間

第2学年 本時図画工作科学学習指導案

6 展開

3 本時目標

- ビニルシートにいろいろな描画材で表す面白さを楽しむことができる。
- 友達と活動することを楽しむことができる。
- ビニルシートに表したいものをいろいろな描画材で表すことができる。

4 授業仮説

- 以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、子どもたちは材料の面白さを感じながら、表したいものを思いのままに表すことができるであろう。
- ㊦ビニルに描くための、描画材（カラーペン、パスなど）の提供によるイメージの追求。
 - ㊦思いのままに表現するための、テーマ別の場の設定
 - ㊦活動を広げるための交流活動の促し
 - ㊦よさ共感し合うための全体交流とノートを使った振り返り

5 準備

- 子ども…振り返りノート
 教師…ビニルシート、カラーペン、パス、付加材料（平テープ、ビニルテープ、紙テープ）、セロテープ、ハサミ

| 主な学習活動と内容 (○) | 力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆) | 見取りたい子どもの姿の例 |
|--|--|---|
| 1 前時までの活動を振り返る。 ○前時に考えた、表したい世界を振り返ること (思) 2 本時の活動のめあてを知り、活動の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">大きなビニルに、あらわしたいせかいをかい ていこう。</div> ○カラーペンなどの描画材の特性を確かめ、活動の意欲をもつこと (思) 3 大きなビニルにカラーペンやパスを使って、描きたい絵を描く。 ○自分の思いに合うような描画材や色を選ぶこと (表・思) ○表したいことをイメージしながら、描くこと (感) 4 交流をし、付加材料を使ってさらにかきたいものを表す。 ○他のグループの作品を見てよさに気づき、更に発想すること (評) (1) グループで交流し、よさに気付く。 (2) 更に発想し、付加材料も使いながら描き加える。 5 本時の活動を振り返り、交流して、次時の活動への見通しをもつ。 ○活動の楽しさに気付くこと (感) ○本時での学びや気づきを認知すること (評) (1) 気付いたことを発表する。 (2) 本時の気づきや学びを確かめる。 | ㊦全体交流をして、前時にビニルで遊んで気づいたことや、表したい世界を想起させるようにする。 ◆描画材によって色や太さがかわること ㊦自分やグループが大きなビニルにどのようにかいていくか考えられるように、アイデアスケッチで確認できるようにする。 ㊦更に描き加えることを考えるように、他のグループの作品のよさを見つける交流を設定する。 ◆付加材料を使うことで、イメージが深まること ㊦がんばったこと、楽しかったこと、気付いたことを発表し、本時の活動のよさを見つけることができるようにする。 ◆思いのままに絵を描くことの楽しさや、ビニルに描く面白さがあること | 見取りたい子どもの姿の例 ・ビニルは光を通したり、形を変えたりすることができることを想起する。 ・ビニルは、カラーペンやパスで絵をかけることを想起する。 ・アイデアスケッチを見て、表したい世界を想起する。 ・描画材を試しながら、自分のイメージに合うものを選ぶ ・表したいものを自由に描く楽しさに気付く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ぼくの水族館には大きなクジラが泳いでいるよ。</div> ・友達の作品を見て、更に発想する。 ・思いにあった付加材料を選ぶ。 ・活動のよさに気づき、次時の活動を具体的に思い描く。 ・ビニルに絵を描く楽しさを確かめる。 |

5 / 5時間

第2学年 本時図画工作科学学習指導案

6 展開

3 本時目標

- ビニルシートに表した世界で遊びながら、自分達の表現のよさを見つけ、話すことができる。
- 友達表現のよさに気付くことができる。

4 授業仮説

以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、子どもたちは、ビニルに表した世界を楽しみながら、よさを見つけることができるであろう。

- ㊦付け加えて遊ぶための材料コーナーの設置
- ㊦走ったり設置したりして遊ぶことができる広い場の設定
- ㊦よさを話したり、見つけたりするワークショップの設定
- ㊦㊦学びや価値を共有するための全体交流与カードを使った振り返り

5 準備

子ども…ビニルシート
 教師…カラーペン、パス、
 付加材料(平テープ 紙テープ
 ビニルテープ)

| 主な学習活動と内容 (○) | 力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆) | 見取りたい子どもの姿の例 |
|--|--|---|
| 1 本時の活動のめあてを知り、活動の見通しをもつ。 ○ビニルに表した世界を見て、どんな遊びをした いか思い描くこと (思) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">遊びながら、ビニルに表した世界の、いいところを見つけよう。</div> 2 思いついた遊び方で、ビニルで遊ぶ。 ○ビニルを持って走ったり、遊具にかけたりして遊ぶこと (思) ○さらに思いついて、テープを付けたり、描いたりして遊ぶこと (思・表) 3 ワorkshopを開き、表現のいいところを話し合う。 ○自分たちの世界のいいところを話すこと (感・評) ○友達の世界のいいところを見つけること (感・評) 4 本時の活動を振り返り、交流してよさを共有する。 ○遊びの楽しさに気付くこと (感) ○いいところを見つける楽しさを味わうこと (評) | ㊦遊び方を話し合うように全体交流を設定する。 ◆いろいろな遊び方があること ◆色・形・動きなどのよさがあること ㊦走ったり設置したりして遊ぶことができるように、広い場を設定する。 ◆色・形・動きなどのよさがあること ㊦材料コーナーを設置する。 ㊦よさを活かしたり、見つけたりするワークショップを設定する。 ㊦よさを全体に広げるように、振り返りカードを準備する。 ㊦学びや価値を共有できるように全体交流を設定する。 ◆遊び方のよさ、表した世界の色・形、動きのよさがあること ◆ビニルシートで遊ぶ感触のよさを感じる。 | 見取りたい子どもの姿の例 ・できた世界に満足している。 ・いろいろな遊びを思い描く。 ・いいところ見つけの観点を聞き、意欲をもつ。 ・持つて走ると、世界が動くことに気付く。 ・遊具にかけると、その世界に入り込んで遊べることに気付く。 ・光を通すと色が変化して見えることに気付く <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 海の魚がおよいでいるよ！ぼくも一緒に泳いじゃえ。 </div> ・いいところをたくさん出し合っている。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> また、ビニルで遊びたいな。絵を描きたいな。 </div> |